

セキュリティ機能設定の初期値①

- セキュリティ機能設定の初期値は下表のようになっています。
- 通常、初期値のまま運用可能ですので変更する必要はありません。運用開始後でも、お客様からセキュリティサポートデスクへ設定変更シートをお送りいただくことで、設定変更可能です。

セキュリティ機能（初期値）

機能名		機能概要	初期値	初期値詳細	変更可能範囲
ポリシー ルール	アプリケーションコントロール	アプリケーションの利用制限を行う機能。日本独自のアプリケーションを含む1,000以上のアプリケーションをサポート	有効	カテゴリ：ピアツーピアのみ ブロック（Bittorrent、Share EX2、WinMX、Winny等）	カテゴリまたは個別アプリケーション単位で設定変更可能
	URLフィルタリング	不正Webサイト、不正URLへのアクセスを止めることにより不正プログラムによる感染、フィッシング詐欺被害を未然に防止	有効	カテゴリ：インターネットのセキュリティのみブロック（ハッキング、フィッシング等）	カテゴリ単位で設定変更可能
	ファイアウォール	攻撃のみをブロックし、適切なアプリケーショントラフィックだけを通過する機能	無効	—	有効・無効での設定変更 IPアドレス・ポート番号等の指定による許可・ブロック設定
	セキュリティ検索除外	業務でセキュリティを除外したい端末等を指定することで、おまかせサイバーみまもりのセキュリティ検索の対象から外すことが可能	無効	—	セキュリティ検索を除外したいIPアドレス、ネットワークアドレスを設定
許可/ブロックリスト (URL及びIPアドレス)		URLまたはIPアドレスを指定し、アクセス許可されたカテゴリから、特定のサイトのみをブロック（ブラックリスト）したり、ブロックしたカテゴリから、特定のサイトのみをアクセス可能（ホワイトリスト）とする。	設定なし	—	①ファイアウォール個別許可設定 ②URL/IPアドレスの許可 ブロックリスト 登録可能なポリシー数は基本無制限だが、URLの許可 ブロックは合計で最大 100 件まで

セキュリティ機能設定の初期値②

- セキュリティ機能設定の初期値は下表のようになっています。
- 通常、初期値のまま運用可能ですので変更する必要はありません。運用開始後でも、お客様からセキュリティサポートデスクへ設定変更シートをお送りいただくことで、設定変更可能です。

セキュリティ機能（初期値）

機能名		機能概要	初期値	初期値詳細	変更可能範囲	
セキュリティ プロファイル	IPS	「不正侵入防御システム」の略称で、ポリシールールで許可されたトラフィックを調べ侵入する脅威、セキュリティホールなど悪意ある攻撃がないかを確認し、ブロック	有効	検出時の処理：ブロック	変更不可	
	不正プログラム対策	不正な通信、プログラムによる攻撃を検知。どこから、どこに、どんな通信が行われているか判別し、内部感染を早期に発見。C&C サーバ通信の検知、Shellshock など脆弱性を狙う攻撃などに対応	有効	スマートスキャン、機械学習型検索が有効	無効に変更可能（不正プログラム疑いのあるファイルを削除しない）	
	メールセキュリティ対策	不正プログラム対策	メールにウイルスが添付されていないか検査。ウイルスが検出されたら駆除	有効	添付ファイルは削除され、メールの件名に[ウイルス駆除済み]を付与し、お客様へ送信	無効に変更可能（メール添付ファイルの不正プログラム対策を行わない）
		機械学習型検索	不正プログラム検索（パターンマッチング）で検出されない未知の不審なファイルが見つかった場合に、その特徴情報をトレンドマイクロへ送信し、脅威・安全の統計情報をもとに脅威であるのかの判断を行う機能	有効	添付ファイルは削除され、メールの件名に[ウイルス駆除済み]を付与し、お客様へ送信	無効に変更可能（不正プログラム疑いのある添付ファイルを削除しない）
		スパムメール対策	メールの受け取り手に許諾なく送ってくる宣伝やいやがらせ、マルウェアなどを含んだメールを検出し、メールの件名に[スパムメール]を付与	有効	メールの件名に[スパムメール]を付与し、お客様へ送信	無効に変更可能（スパムメールの検出を行わない）
		例外リスト	特定のメールアドレスに対してメールセキュリティ対策の例外化が可能	設定なし	—	許可もしくはブロックさせたい送信者のメールアドレスを登録可能
		パスワード付きアーカイブの警告	パスワードが付与されたZipファイルなどについてメール受信者に注意を促す。メールの本文に警告文を付与	有効	メールの本文に警告文を付与し、お客様へ送信	無効に変更可能（パスワード付きアーカイブファイルのあるメールに注意喚起を行わない）
		POP3S/SMT PS/IMAPS 復号	暗号化されたメールプロトコル(POP3S、SMTPS、IMAPS)に対してもメールセキュリティ対策を実施する。適切にメールセキュリティ対策を実施するためには端末に証明書のインストールが必要	有効	サーバとの接続にSSL/TLSを用いるメール通信を検査	無効に変更可能（POP3S/SMTPS/IMAPS通信は検査除外）

セキュリティ機能設定の初期値③

- セキュリティ機能設定の初期値は下表のようになっています。
- 通常、初期値のまま運用可能ですので変更する必要はありません。運用開始後でも、お客様からセキュリティサポートデスクへ設定変更シートをお送りいただくことで、設定変更可能です。

セキュリティ機能（初期値）

機能名		機能概要	初期値	初期値詳細	変更可能範囲
セキュリティ プロファイル	Webレピュテーション	接続前にサイトの危険度（評点）を問い合わせし、そのサイトが「危険性のある Web サイト」と評価された場合に、その接続リクエストをブロック（ドロップ）する機能	有効	セキュリティレベル：中 不正なコンテンツを含むサイト：ブロック	変更不可
	HTTPS復号	HTTPS (HTTP over SSL/TLS)で暗号化された通信を検査する。暗号化された通信を検査するためには、端末に指定の証明書をインストールしていただく必要がある	無効	—	有効に変更可能（HTTPS接続の通信も検査する）